

第 42 回 全 関 西 中 学 生 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 交 歓 大 会

参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●日程	第42回 全関西バスケットボール交歓大会				
●会場	令和6年12月27日 (金) ~ 令和6年12月29日 (日)				
●講師	広島県立総合体育館				
●スケジュール	令和6年12月27日 (金)				
	開講式なし 各自現地集合 9:30 PGC 10:45 試合開始 12:15 PGC 13:15 試合開始 18:30 全体研修会				
●担当試合	令和6年12月27日 (金) 10:45 ~				
	対戦カード	ユナイツ		VS	EINF
	主審(CC)	御前英博氏(山口)	副審(U1)	高木市乃助	(U2)
	講師／主任	なし			
	講評	なし			
	自己の感想	・全体を通して、オビアスな現象にコールを入れることができた。・タイマー管理に関して、マジックタイムの適応ができていた。しかし、クロックの管理が甘いところが度々出てきたので、次回からの課題として持っておきたい。			
●担当試合	令和6年12月27日 (金) 13:15 ~				
	対戦カード	京都精華		VS	松江一
	主審(CC)	山根晃治氏(鳥取)	副審(U1)	高木市乃助	(U2)
	講師／主任	黒岡 和哲様			
	講評	IRの配置はありませんでしたが、黒岡氏に講評をいただきました。 ・ほとんどが相手プライマリで起こるケースだったが、慌てず吹き急ぐことがなかった。・クロックの意識は高く、クロックだけでなくコート内にある提示物にも意識を高めてほしい。			
	自己の感想	・ゲームを通して終始京都精華がリードする展開であったがその中でオビアスな現象にコールを入れることができた。・トレイルが高く逆サイドからプライマリサイドにボールがパスされた時、3or2の判定に遅れることがあった。			
●スケジュール	令和6年12月28日 (土)				
	10:15 PGC 10:45 試合開始 12:15 PGC 13:15 試合開始				
●担当試合	令和6年12月28日 (土) 10:45 ~				
	対戦カード	ARC		VS	FB
	主審(CC)	上田侑平氏(高知)	副審(U1)	高木市乃助	(U2)
	講師／主任	黒岡 和哲様			
	講評	・吹けてなかったケース、吹かない選択をしたケースを検証してほしい。			

	自己の感想	・全体を通して、コールができていない場面が多くあった。・ポジションアジャストが後出しのように動く形になってしまっていた。			
●担当試合	令和6年12月28日	(土) 13:15 ~			
	対戦カード	出雲北陵		VS 滋賀大附	
	主審(CC)	甲斐善正氏(愛知)	副審(U1)	山本拓己氏(広島)	(U2) 高木市乃助
	講師／主任	三島 誠様			
	講評	IRの配置はありませんでしたが、広島県の三島氏に講評をいただきました。 ・オンボールの見方は良かった。次は、その先のオフボールにも目を当てれると良い。・走り方をもっと			
	自己の感想	・ゲーム通して、クレーとの判定基準が合わなかった。・トラベリングなどのパイオレーションが吹ききれなかった。			
●スケジュール	令和6年12月29日	(日)			
	7:50 PGC 10:45 試合開始 11:30 PGC 11:55 試合開始				
●担当試合	令和6年12月29日	(日) 8:30 ~			
	対戦カード	徳島城東		VS 出雲北陵	
	主審(CC)	南洋繁氏(愛媛)	副審(U1)	小賀野信義氏(徳島)	(U2) 高木市乃助
	講師／主任	なし			
	講評	なし			
	自己の感想	・全体を通して、クレーの判定基準が揃っていたと感じた。・課題としてCのプレーの捉え方がしっかりと定まっていなかったことが出てきた。			
●担当試合	令和6年12月29日	(日) 11:55 ~			
	対戦カード	南国北陵		VS IZUMO	
	主審(CC)	林正典氏(愛知)	副審(U1)	河野麻友氏(高知)	(U2) 高木市乃助
	講師／主任	なし			
	講評	なし			
	自己の感想	・一試合を通してファウルコールの多いゲームになった。ファウルコールの三要素を全てあるのか検証が必要だと感じた。・一試合通してスピードアジャスタを意識してゲームに挑むことができた。 最後になりましたが、本大会に参加させていただきました、大阪バスケットボール協会審判委員会の皆様、本当にありがとうございました。			

第 4 2 回 全 関 西 中 学 生 バ ス ケ ッ ト ボ ー ル 交 歓 大 会
参 加 報 告 書

掲題の件、下記の通りご報告申し上げます。

●大会名	第42回 全関西中学生バスケットボール交歓大会				
●日程	令和6年12月27日 (金) ~ 令和6年12月29日 (日)				
●会場	広島県立総合体育館大小アリーナ 広島市コジマホールディングス中区スポーツセンター 広島市マエダハウジング東区スポーツセンター				
●講師	宮武 庸介 様 松本 隆志 様				
●スケジュール	令和6年12月27日 (金) 開講式なし、各自割当時間に集合 9:45 PGC 10:40 コートイン・コートインスペクション 10:50 試合開始 14:15 PGC 14:35 コートイン・コートインスペクション 14:45 試合開始 18:30 全体研修会				
●担当試合	令和6年12月27日 (金) 10:50 ~				
	対戦カード	松徳学院		VS RIZ徳島	
	主審(CC)	田川遥氏(福岡)	副審(U1)	濱田希実	(U2)
	講師／主任				
	講評	IRの配置はありませんでしたが、インストラクターの黒岡様に講評を頂きました。 ・リードの際ボールや、プレイヤーに引っ張られペイントエリアによっている。リバウンドやルーズボールでも同様のため、近づき過ぎないようにする。 ・ヘルドボールの鳴らすタイミングが早い。			
	自己の感想	・自分自身とても焦っていた。その影響もあり、クレー、TOの確認を怠っていた。どのゲームもいつも通りにふけるようになる。 ・ファウルはお互いが鳴らしたものを、把握し同じ基準でテンポセットからできていた。 ・バイオレーションがとても少ないゲームだった。ゲームの序盤から鳴らせず基準ができていない中で、ゲームの終盤に取り上げることになってしまった。バイオレーションは明確なものをゲームはじめから取り上げる。			
●担当試合	令和6年12月27日 (金) 14:45 ~				
	対戦カード	ユナイツ		VS PHM	
	主審(CC)	上田侑平(高知)	副審(U1)	濱田希実	(U2)
	講師／主任	なし			
	講評				
	自己の感想	・クレーと協力しスピードアジャスターが出来ていたゲームだった。 ・前半イリーガルなものも少なく、クリーンなゲームだった。しかし、後半になりゲームが激しくなった際に、すぐにアジャストすることができていなかったように感じる。			

		・UFになりつるコンタクトの際、クルーとのコミュニケーションを長くしてしまったため簡潔に答えるようにする。コミュニケーションの際、年の差などの壁の部分関係なく思ったことを伝える。				
●スケジュール	令和6年12月28日（土） 開講式なし、各自割当時間に集合 9:30 PGC 10:40 コートイン・コートインスペクション 10:50 試合開始 13:00 PGC 13:30 コートイン・コートインスペクション 13:45 試合開始 閉講式なし、試合終了後各自解散					
●担当試合	令和6年12月28日（土） 10:50 ～					
	対戦カード	ADVA		VS		KCD
	主審(CC)	佐伯有三(岡山)	副審(U1)	濱田希実	(U2)	
	講師／主任	なし				
	講評					
	自己の感想	・昨日の講習会の時に共通課題としてプレゼンの部分を挙げていたため、声を使い、TO、ベンチ、観客に伝えることを意識して行った。クロック訂正なども声を使いTOとのコミュニケーションもスムーズに行えた。 ・ショットに対して遅れて入るケースや、横からのイリーガルな手など必要なものをシンプルにコールできていた。				
●担当試合	令和6年12月28日（土） 13:45 ～					
	対戦カード	リダブル		VS		IZUMO
	主審(CC)	松本雅司氏(広島)	副審(U1)	御前英博氏(山口)	(U2)	濱田希実
	講師／主任					
	講評	IR配置はありませんでしたが、インストラクターの黒岡様より講評を頂きました。 ・ファーストコールと同じようなシーンで同じクルーが鳴らせていなかった。 ・テクニカルファウルが起きた際、ボールステイタス、シューターの確認、をもう少しスムーズに。 ・バックパスをコールしたが周りから客観的に見るとどうなのか、大きな現象としてわかりやすいものを取り上げるべき。				
	自己の感想	・スピードアジャスターの部分で3人がそれぞれ役割を果たせており、スムーズな進行につなげることができた。その中で交代後、コートに6人いる状態でゲームを再開してしまうことが起きたため何人入り、何人出たのかしっかり確認する。 ・トレイル、リードサイドでのエッジ付近のシュートで3or2が割れてしまったことがあったためその役割分担と、リードでしっかり体を開き意思表示をしっかりする。				
●スケジュール	令和6年12月29日（日） 開講式なし、各自割当時間に集合 8:00 PGC 8:15 コートイン・コートインスペクション 8:30 試合開始 10:45 PGC 11:00 コートイン・コートインスペクション 11:10 試合開始 閉講式なし、試合終了後各自解散					
●担当試合	令和6年12月29日（日） 8:30 ～					
	対戦カード	松江		VS		宇和
	主審(CC)	薄井由実子氏(広島)	副審(U1)	増田周太氏(広島)	(U2)	濱田希実
	講師／主任	なし				
	講評					
	自己の感想	・テンポセットができクリーンなゲームだったが、交代、フリースローの際選手がゆっくりしていることに対して何も声をかけていなかったこともあり、結果的に後半時間の関係上焦らさないといけなく				

なった。はじめからチームも選手も協力して取り組めるような声かけを行う。
・後半選手も焦りゲームが荒くなってしまい、怪我をしてしまいそうなコンタクトも多くなってしまったためシンプルに一定の基準で鳴らし続けることを意識して行った。

●担当試合

令和6年12月29日 (日) 11:10 ~

対戦カード	EINF	VS	NEXT
-------	------	----	------

主審(CC)	坂本篤宏氏(広島)	副審(U1)	藤潤次氏(広島)	(U2)	濱田希実
--------	-----------	--------	----------	------	------

講師／主任	松本隆志 様
-------	--------

講評	講師に加え、山本海士 氏(広島)、北村仁 氏(大阪)より講評を頂きました。 ・3POのリードの際、ボールが逆サイドにあるにも関わらずクローズダウンポジションに行かないのでローテーションが遅れてしまう。 ・コンタクトの責任、影響の判断がしっかりできておらず、マージナルをコールしてしまっていた。 ・走り方、止まり方、プレゼンは見やすくきれいだった。
----	--

自己の感想	・自分のプライマリーで自分の思うものをコールできていた。しかし、講評にもある通り、影響が本当にあったのか、マージナルではないのかなどの判断をもっと明確にできるようにする。 ・リードでローテーションのタイミングが毎回遅いと感じたためいつ行くべきかなどもっと考える必要がある。 ・トレイル、リードでエッジの協力ができておらず、2人で見ていることが多かったためプレカンで話し合いが必要だと感じた。 最後になりましたが、本大会開催にあたって大会準備や運営を行っていただきました広島県バスケットボール協会の皆様、並びにチーム関係者の皆様に心より御礼申し上げます。また、今大会派遣にあたり、ご指導いただきました審判員の皆様、大阪府バスケットボール協会の皆様に心より御礼申し上げます。
-------	--